

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

4-IV-6

4-IV-6

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	民泊や遊休施設活用の推進
	節	IV. ホスピタリティの醸成		
事業(施策)名	6 遊休施設活用の推進		事業主体	佐渡市観光振興課
			関連団体	佐渡地域振興局企画振興部
事業実施期間	H28～H32			
事業概要	【事業目的】			
	○ ピーク時の宿泊施設不足への対応として、遊休施設の活用の推進を図る。			
事業概要	【事業内容】			
	○ 島内の遊休施設の所有者と活用方策について協議・検討を進める。			
事業実績	【事業成果】			
	● 相川地区の佐州館を学生専用の合宿施設として整備した。			
今後の取組・課題	【課題】			
	■ オンシーズン以外の有効活用と利用促進。			
今後の取組・課題	【今後の取組】			
	■ 利用促進を図るため広報活動を拡充するとともに利用しやすい工夫を検討する。			
事業評価	【事業の達成度】			
	[a ・ b ・ c]			
	◇ 引き続き、相川地区の佐州館の活用促進を図るとともに利用しやすい工夫を検討する。			
事業評価	【事業実施の効果】			
	[a ・ b ・ c]			
	【総合評価】			
[A ・ B ・ C]				

- a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

- A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。